

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	訓練で使用した三連はしごを収納中、手順を誤り縮梯中だった1連目に指を挟まれ骨折した。
3. 体験した事例の中心的要素	手順を熟知していたつもり。訓練が終了して注意力・集中力が欠如してした。
4. 体験した事例の原因・理由	三連はしごの事故率を甘くみていた。自分の技術に慢心していた。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。(誤った手順を取った等)
------------------	---------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成25年10月19日 午後4時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外：仮設用足場で組んだ高さ3.4mの訓練塔
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	(機器等)巻き込まれ、はさまれ
7. 事例体験時の活動	演習訓練
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	資機材準備・手集
9. 同様の体験は、これまでにどの頻度で体験していますか	初めて体験した

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境や、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

三連はしごの事故発生率の高さや、活動の開始期、終息期に事故が多発する傾向のデータがあることを隊員に周知した。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

自己の活動を呼称を実施するよう促し、隊員個々の活動が把握できる環境を作るよう意思統一を行った。三連はしご操法の中のKYTを行い隊員で危険箇所を共有した。

○指揮・情報伝達の対策について

